（仮称）多摩ニュータウン初期入居団地再生ガイドライン（案）の構成

資料１

現　状　と　課　題

（第１章～第３章）

【まちの魅力・活力の衰退】

◇ 若年世帯の減少と高齢化
◇ 都市基盤施設の老朽化
◇ 住宅・近隣センター等の老朽化
◇ 地域コミュニティの衰退

目　指　す　べ　き　ま　ち　の　将　来　像

（第４章）

【まちの魅力・活力の向上】

◇ 多様な世代が暮らし続けられる持続可能なまち
◇ 緑豊かなゆとりある住環境と優れた省エネ・省資源性を備えたまち
◇ 震災などの自然災害に対し、安全で信頼性の高いまち
◇ 地域ブランドを備えたまち

【 検 討 の 視 点 】（第５章）

【検討分野】

	高齢化への対応	若年世帯呼び込み	安心安全	ニュータウンブランドの復権
都市基盤整備のあり方				
住宅更新のあり方				
生活サービス機能のあり方				
コミュニティのあり方				

【分野ごとの対策案と役割分担】（第６章）

都市基盤整備 ユニバーサルデザインによる人にやさしい都市基盤の整備	・バリアフリー化 ・創出スペースの活用 ・ ・
住宅更新 多世代が暮らし続けられる住宅の整備・更新	・更新に併せた多世代居住の促進 ・高齢者等に配慮したバリアフリーの推進（EV、段差解消等） ・ ・
生活サービス機能 質の高い子育て環境の整備・高齢者支援の充実	・空き教室等を利用した子育て支援拠点、高齢者の交流の場などの充実 ・近隣センターを市民活動の拠点、情報・人材バンク、市の出先事務所として活用 ・
コミュニティ ＮＰＯや住民など、多様な主体の協働によるコミュニティの形成	・地域交流の活性化 ・大学との連携による学生寮の設置と学生による地域貢献 ・ ・

推進体制（第７章）

団地再生の推進